



2023年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 シェアリングテクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3989 URL <https://www.sharing-tech.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)森吉 寛裕
問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)矢野 悟 (TEL)052(414)6025
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,292	26.8	220	210.7	218	230.6	279	320.0	279	320.0	279	320.0
2022年9月期第1四半期	1,019	19.2	70	203.4	66	288.4	66	—	66	—	66	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年9月期第1四半期	円 銭 12.93	円 銭 12.88
2022年9月期第1四半期	円 銭 3.08	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2023年9月期第1四半期	百万円 2,048	百万円 953	百万円 953	% 46.57
2022年9月期	百万円 2,328	百万円 669	百万円 669	% 28.76

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2023年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	5,000	12.9	500	24.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期1Q	21,837,600株	2022年9月期	21,829,600株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	219,592株	2022年9月期	219,592株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期1Q	21,613,834株	2022年9月期1Q	21,599,208株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和が進み、徐々に経済活動が再開されるなど、企業活動や個人消費に持ち直しの動きが見られました。

一方で、世界的な金融引き締めに伴う景気下振れリスクの高まりや急激な円安の進行など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは『暮らしのお困りごと』事業に戦略的に経営資源を投入することで、持続的成長に向けた経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上収益は1,292,685千円(前年同期は1,019,097千円、前年同期比26.8%増)、営業利益は220,243千円(前年同期は70,889千円、前年同期比210.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は279,482千円(前年同期は66,549千円の親会社の所有者に帰属する四半期利益、前年同期比320.0%増)となりました。

なお、当社グループは、『暮らしのお困りごと』事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて274,676千円減少し、1,431,820千円となりました。これは、現金及び現金同等物が250,338千円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は、前連結会計年度末と比べて5,955千円減少し、616,320千円となりました。これは、使用権資産が48,633千円、無形資産が15,790千円減少した一方で、繰延税金資産60,995千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて280,631千円減少し、2,048,141千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて526,327千円減少し、1,039,388千円となりました。これは、借入金及び社債が364,900千円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は、前連結会計年度末と比べて38,269千円減少し、54,919千円となりました。これは、借入金及び社債が39,219千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて564,596千円減少し、1,094,308千円となりました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末と比べて283,965千円増加し、953,833千円となりました。これは、親会社の所有者に帰属する四半期利益が279,482千円計上されたこと等によるものであります。なお減資及び欠損補填を行った結果、資本金が1,300,211千円減少し、利益剰余金が1,300,211千円増加しておりますが、資本の額に変動はありません。

③キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べて250,338千円減少し、707,308千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金の増加額は204,909千円(前年同四半期は17,608千円の増加)となりました。これは、税引前四半期利益を218,969千円計上した一方で、営業債務及びその他の債務の減少が41,982千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金の減少額は297千円(前年同四半期は15,179千円の増加)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が3,000千円あった一方で、有形固定資産の売却による収入が2,702千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金の減少額は454,950千円(前年同四半期は506,820千円の減少)となりました。これは、長期借入金の返済及び社債の償還による支出404,900千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月14日に公表した業績予想から変更はありません。2023年9月期は引き続き、『暮らしのお困りごと』事業の安定的かつ継続的な成長を軸に、さらなる企業価値の向上を推進していく方針です。2023年9月期の売上収益は、ポータルサイト『生活110番』及び各ジャンルに特化したパーティカルメディアサイトの運営強化等による問い合わせ件数の増加と各加盟店との協力強化、マッチングの最適化による問い合わせあたり単価の向上により、売上収益5,000百万円を見込みます。

費用面は法人提携の増加及び自社施工の開始により売上原価率は2022年9月期に対して増加する見込みですが、売上収益増大に伴って増加する費用(広告宣伝費及びコールセンター人件費)は現状の対売上総利益比を維持し、その他の固定的な費用については、現状の金額と同水準に抑えることにより、営業利益は、500百万円を見込んでいます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	957,646	707,308
営業債権及びその他の債権	543,080	519,873
棚卸資産	3,356	4,703
その他の金融資産	130,733	131,549
その他の流動資産	71,680	68,386
流動資産合計	1,706,497	1,431,820
非流動資産		
有形固定資産	35,512	33,560
使用権資産	85,005	36,372
無形資産	176,928	161,138
その他の金融資産	180,140	181,140
繰延税金資産	131,196	192,191
その他の非流動資産	13,492	11,917
非流動資産合計	622,276	616,320
資産合計	2,328,773	2,048,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	496,063	454,121
借入金及び社債	616,585	251,685
リース負債	86,286	35,963
未払法人所得税	42,817	—
引当金	26,000	26,000
その他の流動負債	297,963	271,618
流動負債合計	1,565,716	1,039,388
非流動負債		
借入金及び社債	60,688	21,469
リース負債	—	949
引当金	32,500	32,500
非流動負債合計	93,188	54,919
負債合計	1,658,905	1,094,308
資本		
資本金	1,309,168	10,000
資本剰余金	1,302,311	1,305,752
自己株式	△290,364	△290,364
利益剰余金	△1,441,246	138,446
その他の資本の構成要素	△210,001	△210,001
親会社の所有者に帰属する持分合計	669,868	953,833
資本合計	669,868	953,833
負債及び資本合計	2,328,773	2,048,141

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	1,019,097	1,292,685
売上原価	29,989	61,791
売上総利益	989,108	1,230,894
販売費及び一般管理費	921,426	1,017,658
その他の収益	4,038	9,052
その他の費用	829	2,044
営業利益	70,889	220,243
金融費用	4,659	1,273
税引前四半期利益	66,230	218,969
法人所得税費用	△318	△60,512
四半期利益	66,549	279,482
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	66,549	279,482
非支配持分	—	—
合計	66,549	279,482
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	3.08	12.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	12.88

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	66,549	279,482
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融資産	—	—
税引後その他の包括利益	—	—
四半期包括利益合計	66,549	279,482
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	66,549	279,482
非支配持分	—	—
合計	66,549	279,482

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）

(単位：千円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	
2021年10月1日時点の残高	1,308,067	1,297,142	△290,364	△1,913,926	△210,001	190,917	190,917
四半期利益	—	—	—	66,549	—	66,549	66,549
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	66,549	—	66,549	66,549
新株の発行（新株予約権の行使）	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
減資	—	—	—	—	—	—	—
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	—	—
2021年12月31日時点の残高	1,308,067	1,297,142	△290,364	△1,847,377	△210,001	257,466	257,466

当第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	
2022年10月1日時点の残高	1,309,168	1,302,311	△290,364	△1,441,246	△210,001	669,868	669,868
四半期利益	—	—	—	279,482	—	279,482	279,482
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	279,482	—	279,482	279,482
新株の発行（新株予約権の行使）	1,042	1,005	—	—	—	2,048	2,048
株式報酬取引	—	2,435	—	—	—	2,435	2,435
減資	△1,300,211	1,300,211	—	—	—	—	—
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	△1,300,211	—	1,300,211	—	—	—
所有者との取引額合計	△1,299,168	3,440	—	1,300,211	—	4,483	4,483
2022年12月31日時点の残高	10,000	1,305,752	△290,364	138,446	△210,001	953,833	953,833

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	66,230	218,969
減価償却費及び償却費	76,734	71,110
支払利息及び社債利息	2,096	492
有形固定資産売却損益(△は益)	△200	△2,286
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△82,462	23,206
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,449	△1,346
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△23,529	4,823
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,049	△41,982
未払又は未収消費税等の増減額	22,566	△19,517
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,296	△6,827
引当金の増減額(△は減少)	△11,500	—
その他	△29,886	2,257
小計	35,946	248,900
利息の支払額	△2,500	△653
法人所得税等の支払額又は還付額(△は支払)	△15,838	△43,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,608	204,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,100	△3,000
有形固定資産の売却による収入	1,000	2,702
無形資産の取得による支出	△3,701	—
その他の金融資産の売却または回収による収入	34,950	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△14,570	—
その他	△400	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,179	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済及び社債の償還による支出	△452,591	△404,900
新株予約権の行使による収入	—	2,048
リース負債の返済による支出	△54,229	△52,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506,820	△454,950
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△474,032	△250,338
現金及び現金同等物の期首残高	1,742,387	957,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,268,354	707,308

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	66,549	279,482
期中平均普通株式数(株)	21,599,208	21,613,834
基本的1株当たり四半期利益(円)	3.08	12.93

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	66,549	279,482
期中平均普通株式数(株)	21,599,208	21,613,834
新株予約権による普通株式増加数(株)	—	81,070
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	—	21,694,904
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	12.88

- (注) 1. 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第1四半期連結累計期間において219,592株、当第1四半期連結累計期間において219,592株であります。
2. 前第1四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(セグメント情報)

当社グループは、『暮らしのお困りごと』事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。